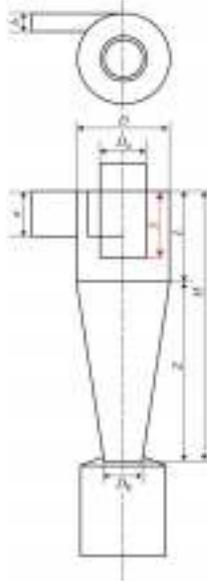
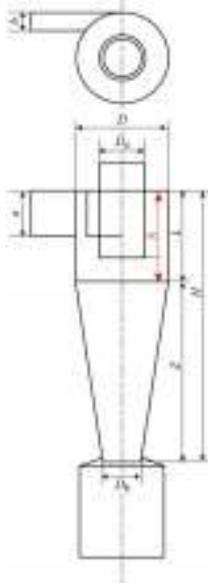
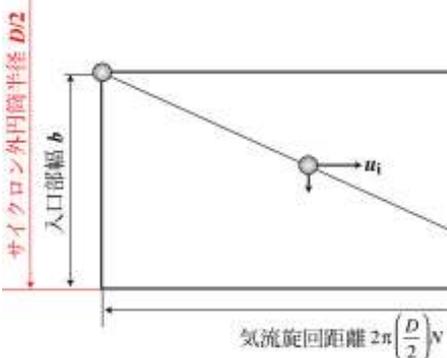
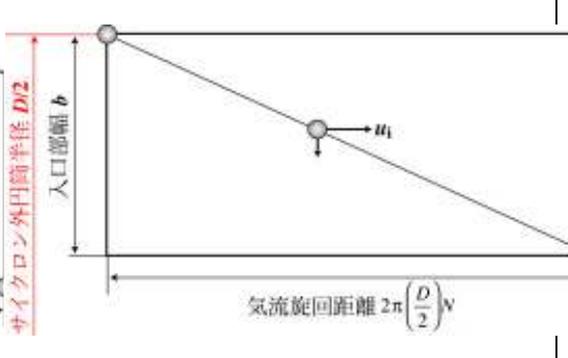


本書内に誤記がありました。お詫びして訂正します。

(2014/2/19)

頁		正	誤
2	図 1.1 の記号	Br SO _x	BrS O _x
2	上から 4 行目	・・・浮遊粒子状物質とは・・・	・・・浮遊粒子状物質 (PM10) とは・・・
4	式 (1.2)	$R = \exp(-\beta d_p^n) = \exp\left[-\left(\frac{d_p}{d_{p50}}\right)^n\right]$ ここで、 β : 粒度特性係数[m ⁻ⁿ]、 n : 分布指数または均等数、 d_{p50} : 50%粒子径	$R = \exp(-\beta d_p^n)$ ここで、 β : 粒度特性係数[m ⁻ⁿ]、 n : 分布指数または均等数
7	下 1 行目	k : ボルツマン定数(=1.38064x10 ⁻²³ J/K)	k : ボルツマン定数(=1.38064x10 ⁻²³ JK)
9	式(1.12)	$\frac{dC}{dt} = -K_0 C^2$	$\frac{dC}{dt} = K_0 C^2$
24	上から 10 行目	・・・で除去された粒子流量である。	・・・で除去された粒子量である。
26	図 2.2	$f(d_p)\Delta d_p$: 頻度	$f(d_p)\Delta d_p$: 頻度分布
28	式 (2.7)	$d_{pa} = \sqrt{\frac{\rho_p}{1000}} d_p$	$d_{pa} = \sqrt{\rho_p} d_p$
30	式(2.11)	$\Delta p = 4C_D \frac{1-\varepsilon}{\varepsilon} \cdot \frac{L}{d_f} \cdot \frac{\rho_g u^2}{2}$	$\Delta p = 4C_D \frac{1-\varepsilon}{\varepsilon} \cdot \frac{L}{d_f} \cdot \frac{\rho_f u^2}{2}$
30	表 2.2 下 脚注の追加	脚注 表中の Re_f は、繊維径基準のレイノルズ数であり、次式で定義される。 $Re_f = \frac{d_f u \rho_g}{\mu}$	
40	表 3.1	圧力損失[kPa]の欄の削除、 粒子充填層圧力損失 ~10000	圧力損失[kPa]の欄 粒子充填層圧力損失 記載なし

54	図 4.4(a)		
56	図 4.6		
58	表 4.1 Ioziar の式	$d_c = 0.47 D (K_a K_b)^{-0.25} K_e^{1.4}$ $z_c = H - S \quad (d_c < D_b)$	$d_c = 0.47 D (K_a K_b)^{-0.26} K_e^{1.4}$ $z_c = H - S \quad (d_c < D_B)$
90	図 4.41	気流速度 u_0	気流速度 u
90	式(4.14)	$\eta_c = \frac{CAu_0}{CA_c u_0} = \frac{A}{A_c}$	$\eta_c = \frac{CAu}{CA_c u} = \frac{A}{A_c}$
91	式(4.17)	ストークス数	ストークスパラメータ
106	図 4.60	Q - 2.2 L/min	Q - 2.2 l/m
109	表 4.2	ガス流量[m ³ /min] 液ガス比「L/m ³ 」 貯水形 加圧水形	ガス量[m ³ /min] 液ガス比「L/m ³ 」 貯水型 加圧水型
147	表 4.9	最大昇圧速度[x10 ² kPa · m/s]	最大昇圧速度[bar · m/s]

161	下から1行目	ほぼ 100nm 程度のところで <u>通過率</u> が最大	ほぼ 100nm 程度のところで <u>通気率</u> が最大
162	図 5.4 縦軸	粒子 <u>通過率</u>	粒子 <u>通気率</u>